

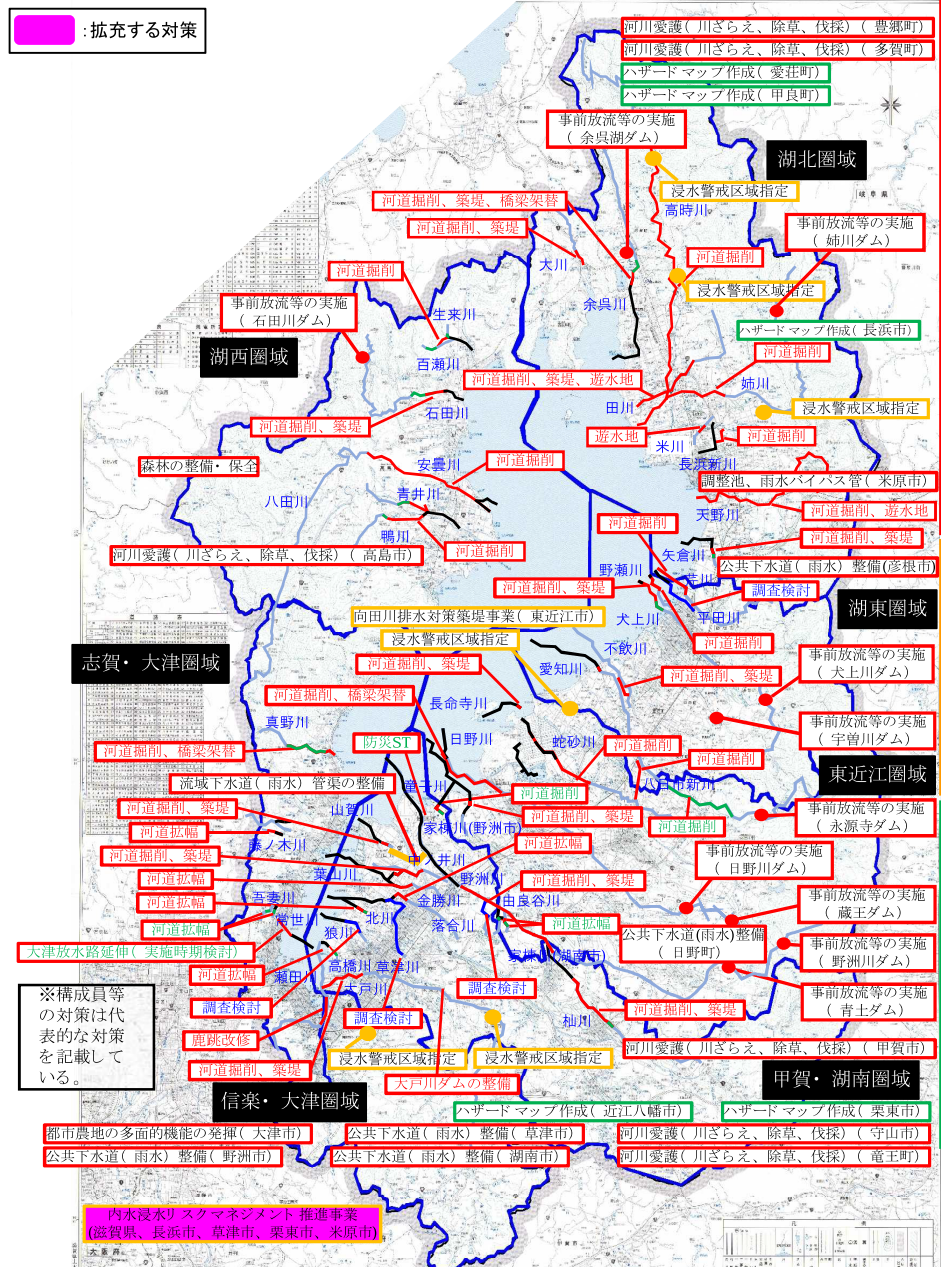
淀川水系流域治水プロジェクト 琵琶湖(滋賀県域)分会【位置図】

資料4-1

～琵琶湖流域人口141万人の「滋賀県民」の命を守る治水対策の推進～

○近年、気候変動の影響等により各地で激甚な災害が発生したことを踏まえ、琵琶湖流域においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。

■ : 拡充する対策



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- 洪水氾濫対策
 志賀・大津圏域 藤ノ木川(河道拡幅)、真野川(河道掘削・橋梁架替)、瀨田川(鹿跳改修)、常世川・吾妻川(河道拡幅)、大津放水路(延伸(実施時期検討))、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全
 信楽・大津圏域 大戸川(河道掘削・築堤、大戸川ダム)、高橋川(河道拡幅) 普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全
 甲賀・湖南圏域 野洲川(河道掘削・築堤)、山賀川(河道掘削・築堤)、葉山川(河道拡幅)、中ノ井川(河道掘削・築堤)、金勝川(河道拡幅)、北川(河道拡幅)、柚川(河道掘削・築堤)、家棟川(野洲市)、落合川(調査検討)、草津川(調査検討)、狼川(調査検討)、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全
 東近江圏域 長命寺川(河道掘削・築堤)、日野川(河道掘削・橋梁架替)、八日市新川(河道掘削)、蛇砂川(河道掘削)、愛知川(河道掘削)、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全
 湖東圏域 犬上川(河道掘削・築堤)、不飲川(河道掘削・築堤)、芹川(河道掘削)、野瀬川(河道掘削)、矢倉川(河道掘削・築堤)、平田川(調査検討)、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全
 湖北圏域 余呉川(河道掘削・築堤、橋梁架替)、長浜新川(河道掘削)、姉川・高時川(河道掘削)、大川(河道掘削・築堤)、田川(河道掘削・築堤、遊水池)、天野川(河道掘削、遊水池)、米川(遊水池)
 湖西圏域 普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全
 安曇川(河道掘削)、石田川(河道掘削・築堤)、鴨川(河道掘削)、百瀬川(河道掘削)、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全
- 内水氾濫対策 ○流域下水道(雨水)管渠の整備 ○公共下水道(雨水)管渠等の整備 ○琵琶湖沿岸の内水排除
 土砂災害対策 ○砂防関係施設の整備
 流水の貯留機能の拡大 ○既存ダムを活用した事前放流等の実施
 流域の雨水貯留機能の向上 ○雨水貯留施設の整備 ○開発行為に伴う調整池の設置 ○森林の整備・保全 ○治山対策
 ○農地・農業水利施設の整備・保全 ○ため池の整備・保全
 既存管理施設の適切な維持管理 ○老朽化対策 ○耐震対策

■ 氾濫対策の色分け
 赤: 整備実施区間 緑: 整備時期検討区間 青: 調査検討区間

- 被害対象を減少させるための対策**
- 水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫
 ○市街化区域新規編入時の土地利用誘導の実施 ○浸水警戒区域指定による建築規制の実施
 ○浸水警戒区域内での嵩上げ等安全な住まい方の支援
 まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実
 ○地先の安全度マップによる想定浸水深の公表、更新 ○ハザードマップの作成 ○内水浸水リスクマネジメント推進事業
 ○水害リスクマップの作成
 浸水範囲の限定・氾濫水の制御
 ○市町における浸水対策事業
 安全な避難先の確保
 ○避難先、避難場所等の整備

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- 土地の水災害リスク情報の充実
 ○水害履歴調査結果の公表 ○地先の安全度マップによる想定浸水深の公表、更新
 あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供
 ○自治会や小学校等での水害出前講座の実施 ○河川水位計や河川防災カメラの設置と情報提供 ○簡易量水標の設置
 ○水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
 避難体制等の強化
 ○特に水害リスクの高い地区における避難計画作成支援 ○避難に資するマップ等の整備・拡充
 ○避難指示等の判断・伝達マニュアルの整備 ○広域的な避難計画等の策定支援
 ○要配慮者利用施設における避難計画等の策定及び避難訓練の実施 ○避難行動に資する情報発信等の充実
 ○自治会等における避難計画および避難行動要支援者の個別避難計画の策定支援
 ○ハザードマップ、マイ・タイムラインの作成 ○気候変動等を踏まえた気象観測・予測の高度化、監視の強化
 ○防災士の養成支援
 関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化
 ○河川防災ステーション(水防拠点)整備 ○被災自治体に対する支援

■ グリーンインフラの取り組み 詳細別紙

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。
 ※各事業者の計画が変更された場合にはその内容を変更します。
 ※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

淀川水系流域治水プロジェクト 琵琶湖(滋賀県域)分会【位置図】

～琵琶湖流域人口141万人の「滋賀県民」の命を守る治水対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み 『水辺環境の創出などによる人と自然環境のより良い関係の構築』

○日本最大の湖である琵琶湖は、多様な生物が生息する他、下流域や湖周辺の暮らしを支える水資源であり、多くの河川が流入する一方で流出河川は瀬田川のみといった特性を有する。
 ○滋賀県域においては、今後20年間でヨシ帯再生等の自然環境の保全・復元などの自然再生や、植生護岸等の水質改善対策による健全な水循環系の回復に取り組む。また、小中学校と連携した環境学習や外来生物の駆除など、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取り組みを推進する。

：拡充する対策

- 自然環境の保全・復元などの自然再生
 - ・ヨシ帯再生
 - ・瀬・淵再生
 - ・希少種保全（ビワマスの遡上・繁殖環境の整備）
 - ・水質改善（植生護岸工、植生浄化池等）
 - ・湖岸保全（砂浜浸食対策：突堤、養浜等）
 - ・内湖再生

瀬・淵の再生



ヨシ帯再生



希少種保全（鋼製魚道）



湖岸保全（砂浜侵食対策：突堤）



湖岸保全（砂浜侵食対策：養浜）

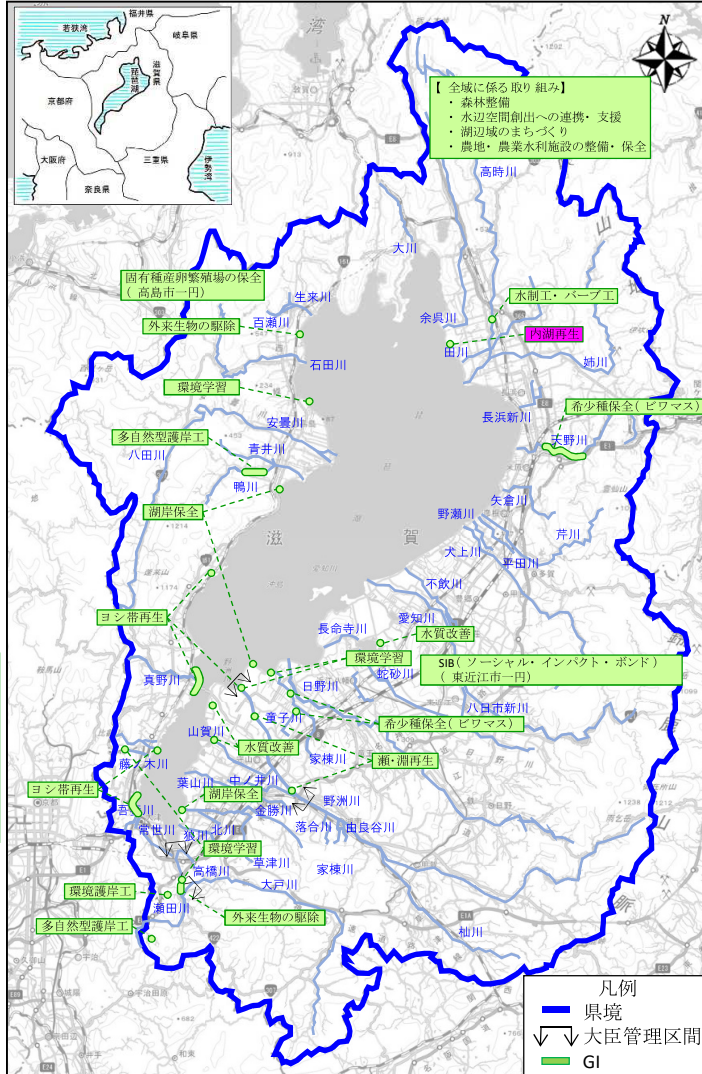


- 健全な水循環系の回復
 - ・水質改善（植生護岸工、植生浄化池等）

水質改善（植生護岸工）



水質改善（植生浄化池等）



- 多自然川づくり（改修・維持事業等）
 - ・多自然型護岸工・環境護岸工
 - ・水制工・バープエ
 - ・希少種保全（ビワマスの遡上・繁殖環境の整備）



- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み
 - ・多様な主体の参画による外来生物の駆除
 - ・地域や小中学校と連携した環境学習
 - ・固有種産卵繁殖場の保全
 - ・SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）



- 全域に係る取組
 - ・水辺空間創出への連携・支援
 - ・森林整備
 - ・湖辺域のまちづくり
 - ・農地・農業水利施設の整備・保全

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

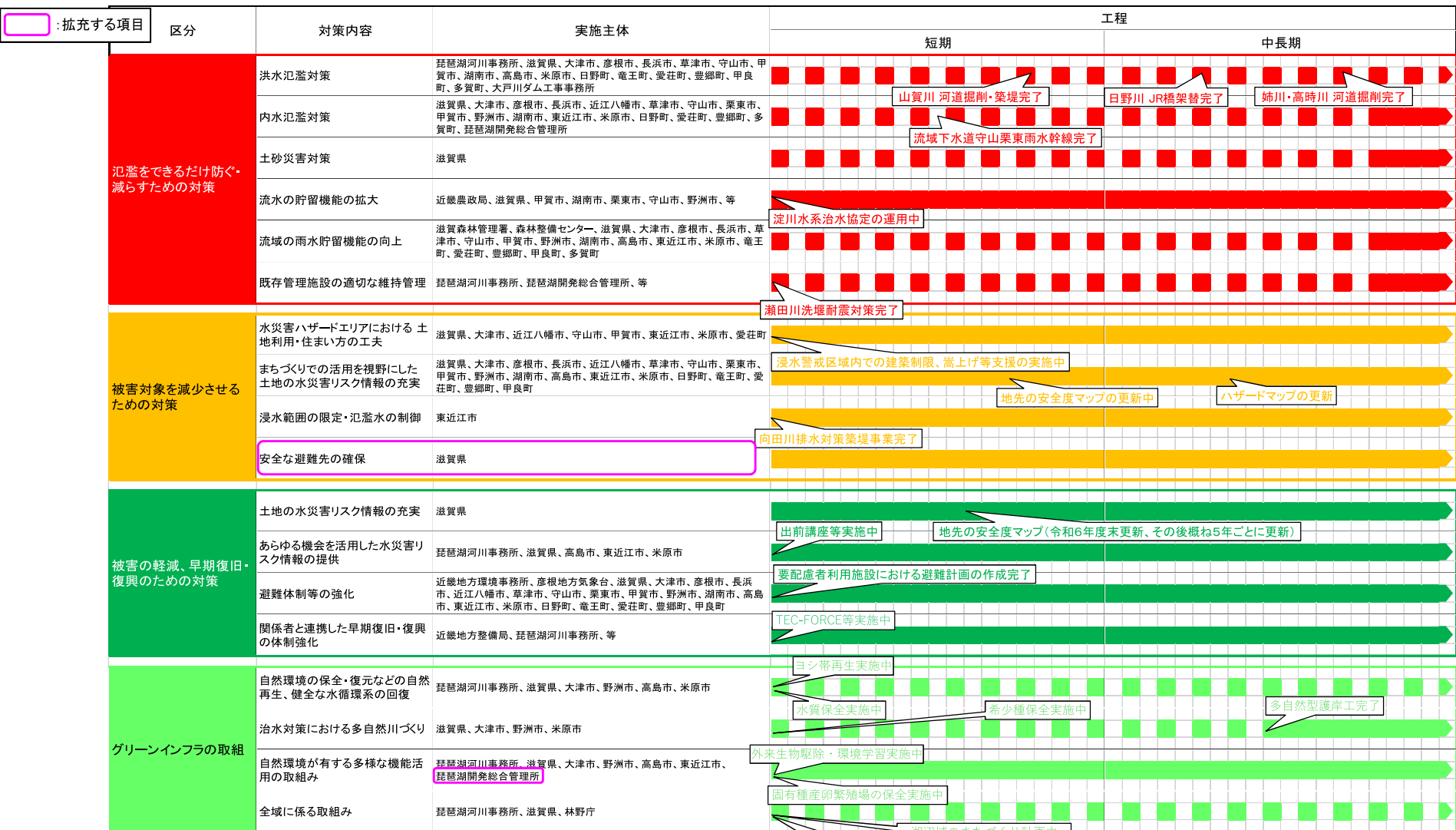
淀川水系流域治水プロジェクト 琵琶湖(滋賀県域)分会【ロードマップ】

～琵琶湖流域人口141万人の「滋賀県民」の命を守る治水対策の推進～

●琵琶湖流域では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町等が一体となって、「流域治水」を推進する。

【短期】洪水を安全に流下させるため、河道掘削、堤防整備を主に実施すると共に、安全なまちづくりや内水被害軽減対策などの流域対策、タイムライン活用等のソフト対策を実施。

【中長期】大規模な浸水被害から人命や資産を守るため、大戸川ダムを含む河川整備や流出抑制対策を実施し、あわせて、安全なまちづくりや内水被害軽減対策などの流域対策、タイムライン活用等のソフト対策を継続実施する事により流域全体の安全度向上を図る。



凡例 点線：対策(工事)中、対策計画等作成中
実線：対策(工事)完了、対策計画等に基づく行動

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。
※各事業者の計画が変更された場合にはその内容を反映します。
※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

淀川水系流域治水プロジェクト 琵琶湖(滋賀県域)分会【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～琵琶湖流域人口141万人の「滋賀県民」の命を守る治水対策の推進～

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約68%→約77%

瀬田川において、流下能力の向上を図るため、河川整備計画の変更を経て、鹿跳渓谷改修事業に着手。

鹿跳渓谷狭窄部

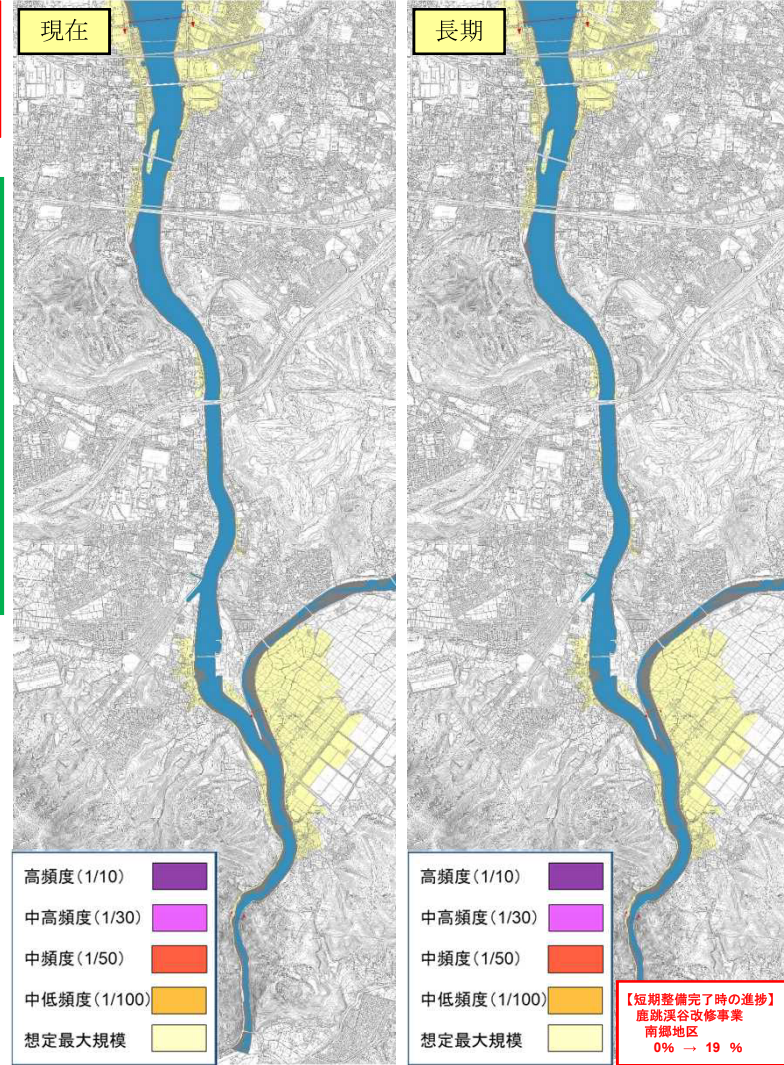


【河川整備率 約68%→約77%】

区分	対策内容	区間	工程	
			短期 (R2~R7年)	中長期 (R8~R34)
関連事業			▼天青閣完成	▼大戸川ダム完了
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	鹿跳渓谷改修	瀬田川 南郷地区	R3	100%
	瀬田川洗堰改築	瀬田川 黒津地区		100%
	堤防浸透対策	野洲川 新庄地区	100%	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	河川防災ステーション (水防拠点) 整備	野洲川 三上地区	100%	100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

※短期整備効果における河川整備率は淀川水系全体の河川整備率を記載している。



【短期整備完了時の進捗】
鹿跳渓谷改修事業
南郷地区
0% → 19%

※この図は、河川の長期計画（河川整備基本方針）で計画対象としている1/100確率年の水位又は降雨、及びその水位又は降雨を1/10,1/30,1/50の確率年とした場合に想定される浸水範囲であり、河川整備計画で目標とする降雨により想定される浸水範囲と一致しない場合がある。
※国直轄区間からの外水氾濫のみを想定したものであり、浸水範囲の軽減効果は、国の整備効果のみを反映している。



5か年加速化メニュー：赤字
整備計画残メニュー：緑字

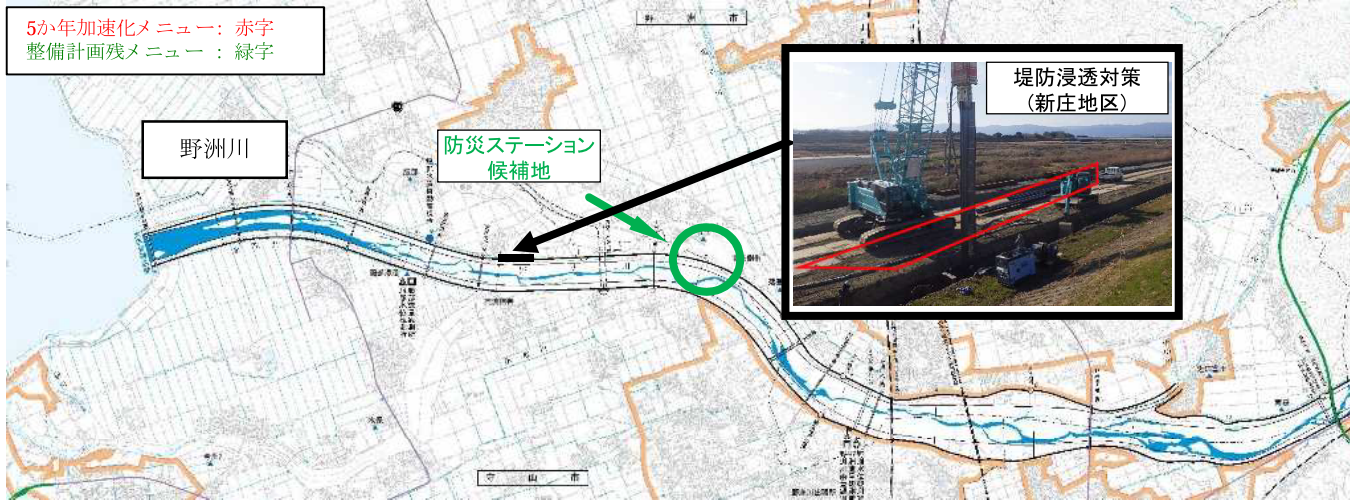
淀川水系流域治水プロジェクト 琵琶湖(滋賀県域)分会【事業効果(国直轄区間)の見える化】

～琵琶湖流域人口141万人の「滋賀県民」の命を守る治水対策の推進～

短期整備(5カ年加速化対策)効果 : 河川整備率 約68%→約77%

野洲川において、被害の軽減、早期復旧・復興の対策を図るため、河川防災ステーションの検討・整備を実施。

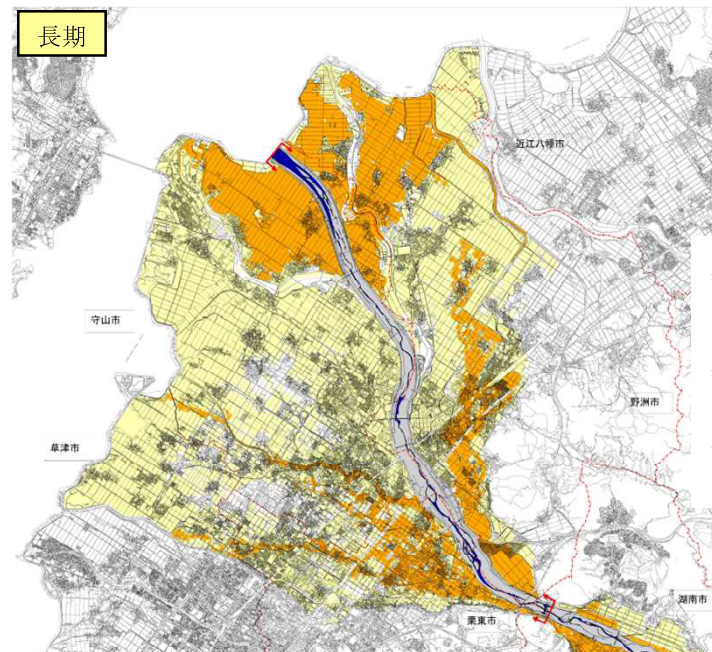
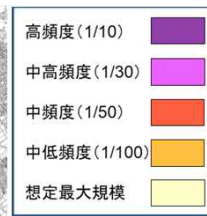
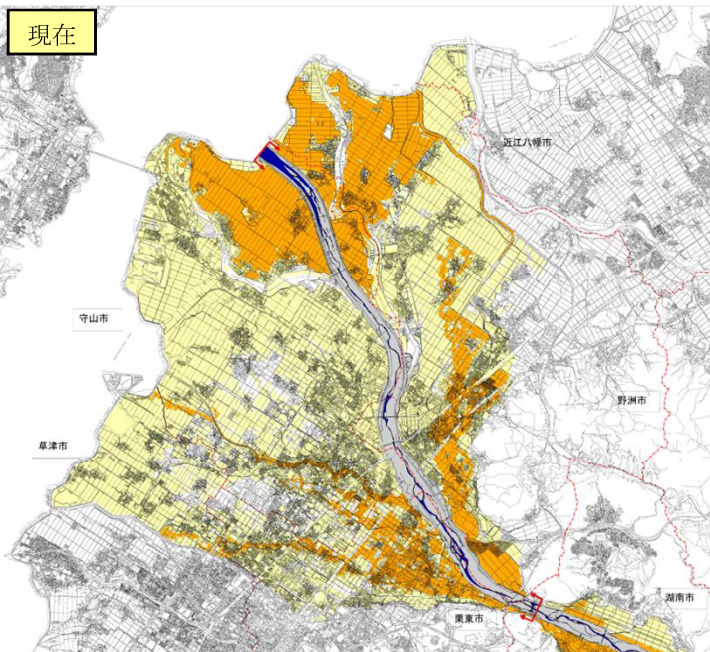
5か年加速化メニュー：赤字
整備計画残メニュー：緑字



【河川整備率 約68%→約77%】

区分	対策内容	区間	工程	
			短期(R2-R7年)	中長期(R8-R14)
関連事業			▼大井町駅完了	▼大井川ダム完了
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	鹿嶋混谷改修	瀬田川 南郷地区	R3	100%
	瀬田川堤堰改築	瀬田川 黒津地区		100%
	堤防浸透対策	野洲川 新庄地区	80%	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	河川防災ステーション(水防拠点)整備	野洲川 三上地区		100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。
※短期整備効果における河川整備率は淀川水系全体の河川整備率を記載。



※この図は、河川の長期計画(河川整備基本方針)で計画対象としている1/100確率年の水位又は降雨、及びその水位又は降雨を1/10,1/30,1/50の確率年とした場合に想定される浸水範囲であり、河川整備計画で目標とする降雨により想定される浸水範囲と一致しない場合がある。
※国直轄区間からの外水氾濫のみを想定したものであり、浸水範囲の軽減効果は、国の整備効果のみを反映している。

【短期整備完了時の進捗】
河川防災ステーション(水防拠点)整備
三上地区
0%→0%

淀川水系流域治水プロジェクト 琵琶湖(滋賀県域)分会【流域治水の具体的な取組】

～琵琶湖流域人口141万人の「滋賀県民」の命を守る治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：77%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



41市町村

（令和3年度末時点）

流出抑制対策の実施



232施設

（令和2年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 **66箇所**
（令和3年度実施分）

砂防関係施設の
整備数 **9施設**
（令和3年度完成分）

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村

（令和3年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 **218河川**
（令和3年12月末時点）

内水浸水想定
区域 **7団体**
（令和3年11月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画 洪水 **10,934施設**
土砂 **751施設**
（令和3年9月末時点）

個別避難計画 **44市町**
（令和4年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

洪水氾濫対策

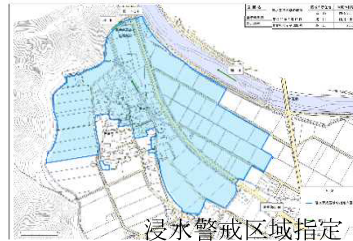


内水氾濫対策

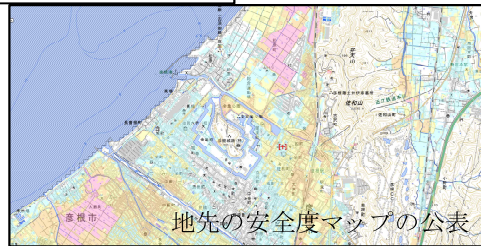


被害対象を減少させるための対策

土地利用・住まい方の工夫



水害リスク情報の充実



被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

水災害リスク情報の充実



水災害リスク情報の提供



避難体制等の強化



※指標の数値は集計中のため変更の可能性があります。 ※淀川水系全体の指標の数値を記載しています。